

「ピーマン」の環境制御を用いた増収技術と 新たな天敵を利用した害虫防除の検討会を開催します



本県のピーマンは、産出額118億円（R4）で日本一の産地です。特に大産地である神栖市、鹿嶋市は、ハウス栽培によるピーマン生産が盛んですが、近年、収量向上を目指して、ハウス内の環境をピーマンの最適な栽培条件に制御する「**環境制御技術**」の普及が始まっています。

鹿島地帯特産指導所では、環境制御技術を活用し、光量に合わせてハウス内の炭酸ガス濃度を最適化する「**日射比例炭酸ガス施用技術**」とピーマンの収量向上に繋がる新たな整枝法「**2本垣根仕立て**」を開発しました。

また、産地からは併せて病害虫対策も求められているため、当所で新たに取組を開始した「**天敵活用によるアザミウマ類の防除技術**」や、「**輪作作物としてアスパラガスの導入による線虫の防除効果**」について生産者等に紹介し、意見交換を行います。

【日 時】 令和7年2月18日（火）
13:30～15:30（受付開始13:00）

【場 所】 茨城県農業総合センター
鹿島地帯特産指導所 2F会議室、ほ場
受付場所：1F駐車場側通用口
（〒314-0133 茨城県神栖市息栖2815）

【参集範囲】 県内ピーマン生産者、JA、
神栖市、鹿嶋市、県関係機関等 50名程度

【内 容】 1. 室内検討（13:30～14:40）
（1）環境制御技術および整枝法による収量への影響
（2）抑制栽培でのタバコカスミカメを用いたアザミウマ類の防除技術
（3）アスパラガス1年養成株全収穫栽培法による線虫の防除効果
2. ほ場検討（14:40～15:30）

【申込締切】 令和7年2月17日（月） 17:00

※雨天決行ですので、汚れても良い履物と雨具持参でお越しください。ただし、荒天の場合は中止する場合がありますので、事前に【お問い合わせ先】までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

茨城県農業総合センター鹿島地帯特産指導所

担当：小川・高木

TEL:0299-92-3637

FAX:0299-93-1340



ピーマンに炭酸ガスを送るダクト(左)と炭酸ガス発生装置(右)



アザミウマ類防除への有効性が期待される天敵タバコカスミカメ